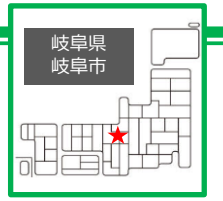
15 全国農業協同組合連合会岐阜県本部

視察受入れ：可　　報道機関受入れ：可

フレッシュ賞



農業分野で障害者が活躍できる場の創出を目指し、直接雇用型の農福連携事業に取り組み、障害者のいちご栽培技能及びコミュニケーション能力を高める。

基本情報

- 所在地：岐阜県岐阜市
- 団体名：全国農業協同組合連合会岐阜県本部
- 選定表彰：－
- 主力商品：いちご（品種：美濃娘）
- 取得認証等：－

収穫の様子

美濃娘

取組の概要

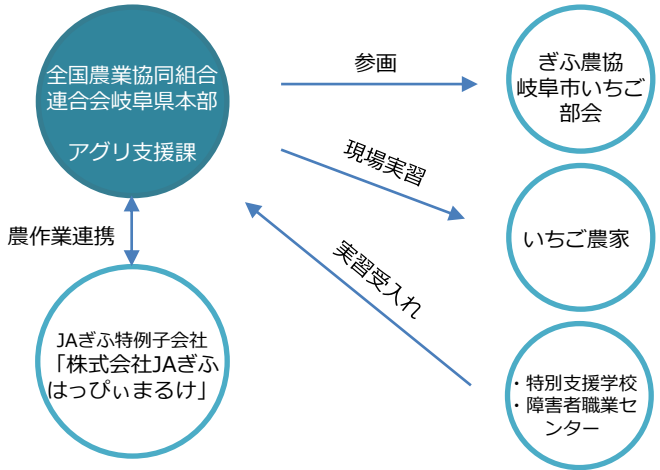
○通年でいちご栽培に従事する障害者を直接雇用。いちごは岐阜県ブランドいちご「美濃娘」を栽培し、地産地消の取組に貢献。
○参画しているぎふ農協岐阜市いちご部会の基準に基づいた栽培・防除・収穫・パック詰めを行い、部会員と同一基準で出荷を実現。
○連携先のいちご農家で農作業実習を行い、人材育成と農家への農福連携を促進。
○株式会社JAぎふはっぴぃまるけと連携し、相互に農作業体験実習を実施。
○特別支援学校や障害者職業センターの実習生を受入れ、いちご収穫体験を実施。

親株の定植作業

パック詰め作業

「はっぴぃまるけ」との連携活動

体制図



取組の成果

○栽培の知識・技術向上に伴い、栽培面積が５a（令和３年）から10a（令和４年）と、２倍に増加。
○市場出荷パック数が約6,000パック（令和３年）から14,600パック（令和４年）と、２倍以上に増加。
○農作業実習では普段と異なる環境下で作業を行うことで、自立支援と雇用創出に繋げた。また、受け入れ先の農家からも農福連携に対して前向きな意見が得られた。

所在地▶岐阜県岐阜市宇佐南4丁目13番1号
連絡先▶TEL:058-214-2431　E-mail: zz_gf_agurishien@zennoh.or.jp
ウェブサイト▶https://www.zennoh.or.jp/gf/einou/noufuku.html

【取組のプロセス】

令和3年

アグリ支援課新設

障害者雇用に向けた環境や受入体制の構築

令和4年

ジョブコーチ支援実施

はっぴぃまるけと連携農作業開始

令和5年

大手量販店で農福連携特設コーナーを設置

外部農作業実習

今後の展望

きっかけ　**少子高齢化による農業分野の人手不足の解消と、SDGsの理念実現を目指し、取組を開始**

障害者雇用に向けた体制づくり

○ 管理者・職場適応援助者の支援スキル向上に向けて、厚生労働省認定の「企業在籍型職場適応援助者養成講習」や県認定の「岐阜県農業ジョブコーチ」育成講習を受講。

作業の見える化

○ 日々の作業をホワイトボードに記入して、作業者に説明。

○ 判断や精度がばらつきやすい作業（防除・芽かき等）も安心して取り組めるよう、作業確認のため一人ずつ作業動画を撮影し、口頭では伝わりにくい留意点を確認。

栽培スキルの向上

○ いちご農家で農作業実習を実施し、栽培管理、収穫方法、効率的なパック詰め手法などを学習。

体調管理・メンタルケア

○ 定期的に個別面談やメンタルミーティングを開き、精神状態の確認とケアを行い、安定就業に繋げている。

農福連携の普及活動

○ 障害者が集荷所へいちごを持ち込み、他の農家と日常的に交流することで、農福連携への理解醸成に取り組む。

○ 大手量販店に農福連携特設コーナーを設置し、商品販売することで農福連携をPR。

農家、雇用主の理解醸成と関係機関との連携

○ 障害者雇用の理解促進を図るため、外部と交流する機会を増やす。

○ いちご農家での作業実習を通じて、障害者のいちご栽培技能・知識向上やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、農家に障害者雇用の選択肢を広げていく。

○ 県と連携した農福体験ツアーや大学との連携による収穫作業体験などの機会を作り、農福連携の取組を広める。

全員で作業動画を確認

いちごを農家訪問し、効率的なパック詰め手法を学ぶ

量販店に農福連携特設コーナーを設置し、商品販売